



富士山頂にも雪が降り始め秋の深まりを感じる頃となりました。早いもので今年も残すところ 2 か月、市政では令和 6 年度に向けた準備が進んでいます。現在は予算編成を前に議会や団体を通して寄せられる多くの要望をお聞きしているところです。

市議会では令和 4 年度の決算についての点検がなされましたが、予算の執行が概ね効率的・効果的に行われ市の財政状況も借金残高の減少など問題なく推移していることが報告されました。進行中の主要な事業について今後も丁寧な説明を重ねて、議会・団体そして多くの市民の皆様の意見を広く集めながら、三島市の持続的発展に資するものとしてまいります。

10 月 20 日は WBC 侍ジャパン・元監督の栗山秀樹さんが松崎町と三島市を訪れるという大変うれしいことがありました。「組織づくりと地域づくり」や「夢は正夢～未来への熱い思いを現実～」といったテーマで、地域の方々や中高生に向けて、夢を持ち続けることポジティブに考えることの大切さをお話しされました。置かれた状況を分析し、自らの目指す方向に状況を変えていこうと考えるのが人間であり、共に力を合わせることでその可能性が広がることを、これまで何度もピンチを乗り越えた経験を通して語り、会場内も熱気に包まれていました。私も三島での講演を聴かせていただき、進むべき道へと強く背中を押され勇気をもらった一日でした。

三島市長 豊岡 武士

新幹線ひかり号等の三島駅停車本数の増加要望 ～伊豆・北駿 10 市町と商工業関係者 10 団体一丸となって～

先ごろ、国土交通省が東海道新幹線の増便についての試算を公表し大きな話題となっていますが、三島市はじめ近隣の 10 市町は新幹線の利便性向上が地域活性化を図る上で欠かせないとして、平成 11 年から毎年、商工業関係者、周辺事業所・大学と一丸となって、J R 東海に対し新幹線(ひかり号等)の三島駅停車本数増加についての要望を粘り強く続けています。

令和 4 年度、行政の移住相談や支援制度を活用して静岡県に移住した人数は 2634 人で過去最高となる等、東京圏はじめ県外からの移住先として注目を集めるエリアとなっています。市町別では三島市が県内 5 位、沼津市が県内 3 位で、要望活動に参加している三島駅近隣 10 市町を合わせると 568 人でした。地域がさらに持続的発展を目指した諸事業を進める上で、三島駅は静岡県東部地域の拠点駅として、その利便性向上に大きな期待が寄せられています。地域住民、周辺企業に勤める方はもとより観光やビジネス等で訪れる人々、また東部地域から首都圏への通勤通学にも、新幹線をはじめとした交通機関がより便利で利用しやすいものとなることが、人々の生活圏を広げ、交流と賑わいのある豊かな暮らしに繋がるものと考えます。

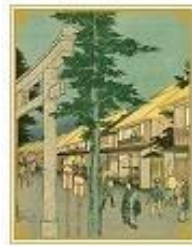
連名市町および団体 三島市、沼津市、御殿場市、裾野市、伊豆の国市、伊豆市、函南町、清水町、長泉町、小山町
三島商工会議所、沼津商工会議所、御殿場市商工会、裾野市商工会、伊豆の国市商工会、伊豆市商工会、函南町商工会、清水町商工会、長泉町商工会、小山町商工会

三島市長 豊岡たけし後援会事務所 〒411-0035 三島市大宮町 2-14-20
TEL 055-976-2160 FAX 055-976-2159
E-mail : toyotake@mail.wbs.ne.jp
ホームページ <http://www.toyooka-takeshi.jp/>

トピックス みしま

◇三島市郷土資料館 企画展「三島宿へようこそ」

三島の中心市街地は、江戸時代の宿場が発展したまちです。三嶋大社前を東西に走る大通りは江戸時代の東海道にあたり、かつて旅籠が立ち並び旅人が行き交った東海道の宿場の名残がそこかしこにあることに気づくでしょう。宿場としての発展が現在の三島市を形作り、地域の歴史や文化に大きく影響しています。江戸時代の三島宿はどんな「まち」だったのか。三島宿のはじまりと繁栄、たび重なる危機や宿場のおわりまで、人々の暮らしやまちの様子を絵図や古文書などから紹介する企画展です。



企画展会期:令和5年10月28日～令和6年2月18日

三島市郷土資料館:開館時間 9:00～16:30(月曜日休館)入館無料

※ただし、楽寿園への入園料 300 円要

【関連講演会】

「宿場世界の個性と多様性～三島宿と神奈川宿の絵図資料の比較から～」

講師:井上政さん(元横浜市歴史博物館副館長)

日時:令和5年11月23日(木・祝) 午後2時～4時

会場:三島市民生涯学習センター講義室 申込み:TEL 971-8228

◇三島の秋の夜長を愉しむイベント

○夜菊鑑賞(楽寿園菊まつり) 11月4日(土)～12日(日) 午後5時～

10月28日から開催中の秋の風物詩「楽寿園菊まつり」。今年のテーマは徳川家康公ゆかりの「久能山東照宮」。午後5時からライトアップされた園内で菊の香りに包まれてみませんか。

○みしま竹あかり・三嶋大社 11月4日(土)～12日(日) 午後5時～

三島市観光協会のアカウントをフォローして三嶋大社でライトアップしている「竹灯籠」の写真を SNS に投稿「#みしま竹あかり」とすると抽選で「三島うなぎパック」が当たる！

○三島はしご酒 10月28日(土)～2024年1月31日(水)

観光案内所等でリーフレットを受け取って、魅力あふれる三島のお店をはしごしよう！リーフレットの提示で1フード+1ドリンク 1000 円(税込)の「鎌倉殿セット」が楽しめます。

◇三島市社会福祉協議会 法人間連携によるパンフレット「みて・きて・使って みしまの高齢者福祉施設」

～地域とつながる個性的な施設が盛りだくさん～

超少子高齢化社会が進み家族の形態や地域における支え合い、助け合いの関りも変化しています。三島市社会福祉協議会では「地域共生社会」の実現を目指し、福祉課題等に対応した地域の福祉サービスの一層の充実を図り課題等の解決に向けた協働による取り組みを推進しています。その一環として地域や社会に貢献していきたいと願う高齢者福祉に関わる 12 法人と共に、パンフレット「みて・きて・使って みしまの高齢者福祉施設」を作成しました。各施設が行っている、地域の皆さまと「つながる」多方面での取り組み(介護の悩み相談・地域活動・体操教室など)や貸出可能な備品等の紹介の他、福祉人材確保に向けて働く方の声も紹介していますので、是非、一度お読みください。三島市社会福祉協議会ホームページからもダウンロードできます。



施設	入居条件	自立	要介護 1-2	要介護 3-5
介護付き有料老人ホーム	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○
住宅型有料老人ホーム	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○
サービス付き高齢者向け住宅	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○
グループホーム	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○
ケアハウス	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○
特別養護老人ホーム	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○
介護老人保健施設	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○
介護療養型医療施設	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○
介護施設(介護老人保健施設)	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○
介護施設(介護療養型医療施設)	介護が必要で、24時間介護が必要な方	○	△	○